

登壇者プロフィール

宮坂 勝利(みやさか・かつとし)

東京都瑞穂町図書館 館長兼郷土資料館管理者。平成元年に瑞穂町役場に入庁後、広報、企画、基地対策関係の部署を経て、平成 21 年には防衛省北関東防衛局に地方自治体では初の人事交流で出向となる。平成 24 年に現職である図書館長に任命され、図書館業務のほか、新郷土資料館の建設に携わり、完成後は隣接する社会教育施設「耕心館」も含め、3 つの異なる施設を所管している。モットーは「仕掛ける図書館！！」であり、故大瀧詠一氏コーナー、地域資料の見える化、ふるさと学習みずほ学の連携等、事業仕掛け屋として職員に嫌われる??毎日を送っている。

井上 透(いのうえ・とおる)

岐阜女子大学 デジタルアーカイブ研究所 所長・教授、特定非営利活動法人デジタル・アーキビスト資格認定機構事務局長。国立科学博物館参与、日本科学技術振興機構 GBIF 技術検討委員、国立諫早青少年自然の家所長を経て現職。専門は教育情報学、メディア論、博物館情報管理、デジタルアーカイブ、シソーラス。著書：『デジタルアーカイブ要覧』（共著、教育評論社、2007 年）、『デジタルアーキビスト入門』（共著、2014 年）等。

原田 隆史(はらだ・たかし)

同志社大学免許資格課程センター教授・同志社大学大学院総合政策科学研究科教授。専門は図書館情報学、図書館システム。国立国会図書館非常勤調査員として、国立国会図書館サーチの企画・開発に携わってきた。図書館に関わる人々自らの手で新しい図書館管理システムを作りあげることを目指すプロジェクトである Project Next-L の代表も務める。共著に『図書館情報学を学ぶ人のために』（世界思想社）、『情報倫理 ～ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）、『情報資源組織論』（樹村房）等。